

西部センターだより

〒697-0016 浜田市野原町 1826-1 (いわみ〜る3階)
TEL : (0855) 24-9344 FAX : (0855) 24-9345
Eメール : syougaisen-west@pref.shimane.lg.jp

第3号



今年の山陰は冷夏と言われ、日照時間も平年の40%で農作物への影響が心配です。一方、当センターでは、冷夏など何のその。各種講座の受講生の熱気がムンムンです。講座を終え、笑顔で帰って行かれる受講生の姿は、私たちスタッフの原動力になっています。

基礎研修「参加型学習入門」〜川本会場〜 (参加者 14名: 役場職員 10名、公民館主事等 4名)

ミニ講義:「参加型学習とは」

参加型学習の意義や効果、また学習の組み立てについての説明をしました。

アイスブレイク体験

雰囲気作りや仲間作りに使えるアイスブレイクをいくつか紹介しました。

ミニ・ワークショップ体験

研修や会議の導入で使える簡単なワークショップを2つ紹介しました。

- ①ブレインライティング…考えを広げる手法
- ②ランキング…納得すくの合意をめざす手法

ふりかえりとわかちあい(シェアリング)

学習した感想などを伝え合い、思いを分かち合いました。



参加型学習の活用!

お出かけ講座「川本町青少年育成町民会議研修会」(青少年育成関係者31名)

マンネリ化した研修会に、ぜひ参加型学習を取り入れたいという担当者からの依頼があり出かけました。ご高齢の方も多かったですが、アイスブレイク、ワークショップ等、最後まで熱心に参加してくださいました。



- ◆ 青少年の研修は難しく眠いけど、参加型にすることにより人の意見も聞け、考え方もいろいろあると感じました。実体験をされた生の言葉が聞かれ、成果のある演習だったと思います。
- ◆ 平素の活動がマンネリ化しつつありましたが、声かけの大切さなど、初心に帰ることに気づきました。

〜参加者の声より〜

参加型学習に興味のある方は、ぜひ一緒に学びましょう!!



参加型学習入門〜いわみ〜る会場〜 9月16日(水)

アイスブレイクやミニワークショップを体験する参加型学習の入門編です。導入に使えるゲームやちょっと変わった自己紹介の仕方など、子どもから高齢者まで楽しめる手法を紹介します。

参加型学習実践講座(会場:いわみ〜る) 10月15日(木)・16日(金)

参加型学習の促進者であるファシリテーターを体験する実践編です。ワークショップの進め方やそのポイントを知り、グループごとにワークショップの進行体験をしてもらいます。

その他の主催講座の様子

7月に実施した専門研修「コーディネーター術実践講座」と課題別研修「ボランティアの意義と役割」の講座の様子をご紹介します。

講義:「人は独りでは生きられない」

“茨城大学の吉本興業”と言われる(?)ほど、まさに講義は笑いの連続。しかし、その内容はなるほどと考えさせられるものばかり。分かりやすくとても深い、いいお話でした。

「子どもの社会化」と「3つの場」、「職の世界」と「役の世界」、
「3つの間」、「四天王」と「コモンズ」、「4つの縁」、
「同じだけど違う 違うけど同じ」、などなど。

講義を通して、コーディネーターの重要性を再確認した時間でした。

コーディネーター術 実践講座



茨城大学生涯学習
教育研究センター
長谷川幸介 准教授

演習:コーディネーターとして子どもの居場所をどうつくるか

講義をもとに、学校・家庭・地域の3つの場の中に、子どもの居場所をどうつくるかについて、グループで課題を出し合い(KJ法)、全体で整理し、それぞれの具体案を考える演習(ロジックツリー&KJ法)を行いました。



＜受講者の声＞

- ◆楽しかった。ためになった。先生のお話に涙が出た。自分の仕事に改めて誇りを持たれた。
- ◆心に響く言葉がたくさんあり、また内容がとても深く、すばらしい1日でした。
- ◆コーディネートすることの意味と難しさを感じさせられました。

ボランティアの 意義と役割の



国立教育政策研究所・
社会教育実践研修センター
全国体験活動ボランティア活動
総合推進センター
コーディネーター
橋本洋光 氏

講義:「ボランティアの意義と役割」～あなたのできることをできる時に～

ボランティア活動の4つの性格 ⇒ ①応答性・自発性
②相互性・社会形成性
③無償性・無給性
④先駆性・開拓性

◎生涯学習社会における自己学習の活かし方としてボランティア活動が・・・
さらに一步前へ、自己実現を社会参画に・・・

⇒ ボランティア活動は市民活動の土台であり先陣となる。

◎学校・ボランティア・地域+コーディネーターで「教育の共同体」を形成
⇒ 「ミッション」の共有(学習目的の共通理解)

演習:「これからのボランティアに求められること」(KJ法)

講義を受けて、これからのボランティアに求められることについて、グループで意見を出し合いました。

＜受講者の声＞

- ◆これまで手探りでやってきたボランティアについての意義や役割が、自分の中で体系化できた。
- ◆事例をたくさん出してくださって分かりやすかった。何が大切か考えさせられた。
- ◆ワークショップでは、同じ悩みや同じ感動などが分かるととても良かった。



市町のひろば

祝復活!! 吉賀町派遣社会教育主事

吉賀町は今年度から福原社会教育主事の派遣を受けました。まだ4ヶ月あまりですが、徐々に学校・公民館との関係が変わりつつあるように感じています。

福原社会教育主事は、学校・公民館へ度々出かけ、行く先々で良かった事や問題点などを持ち帰ります。そして良かった事は地域にアピールし、問題点などは解決策を検討するなどしてまた出かけて行きます。

以前は持ち帰った後の対応がうまくできず、教育委員会・学校・公民館の関係が一方通行だった部分があったように感じます。些細なことかもしれませんが、こうしたキャッチボール、パイプ役の一つが足りなかったことも気づかされましたし、細かな一つのつながりが次のステップに役立つことも気づかされました。

徐々に大きなつながりへ変化する中、私も負けじと一事入魂でがんばります!

(吉賀町教育委員会 社会教育担当者より)